

# 振動規制法に基づく特定建設作業実施届出書（記入例）

様式第9

## 特定建設作業実施届出書

平塚市の様式を使用

2部提出

令和〇〇年4月1日

平塚市長 殿

届出者 住所 〇〇〇県 〇〇市〇-〇-〇  
名称及び株式会社〇〇元請建設  
代表者氏名 代表取締役社長 〇〇 〇〇  
電話番号 〇〇〇〇 (〇〇) 〇〇〇〇

特定建設作業を実施するので、振動規制法第14条第1項(第2項)の規定により、次のとおり届け出ます。

建設工事の名称	湘南〇〇〇〇ビル解体工事				特定建設作業の種類を記入。 複数の作業を行う場合、作業ごとに別途届出書が必要。 届出が必要な機械のみ記入。
建設工事の目的に係る施設又は工作物の種類	RC造地上〇階建て 事務所ビル				
特定建設作業の種類	ブレーカーを使用する作業				
特定建設作業に使用される騒音規制法施行令別表第2に規定する機械の用途地域を確認。※工業専用地域は届出不要。	〇〇社製 〇〇型ジャイアントブレーカー 1台				作業の有無にかかわらず、実施期間の日数を記入。
特定建設作業の場所	● 浅間町9-1				
特定建設作業の実施の期間	自 令和〇〇年 4月 9日 至 令和〇〇年 4月 20日			12日間 (予備日3日間含む)	
着工日の8日前(中7日空けて)に届出書が提出されているか確認。	作業開始	作業終了	作業日	実働時間	
特定建設作業の開始及び終了の時刻 日、祝日は除き、工程表と整合性をとる。	自 9時	至 15時	日、祝日を除く	5時間	
騒音の防止の方法	低騒音型の機械を使用。作業時間を必要最小限にする。				法人にあっては、代表者の役職・氏名を記入。
発注者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名	〇〇〇県 〇〇市〇-〇-〇 湘南〇〇〇〇ビル株式会社 代表取締役社長 〇〇 〇〇 電話番号 〇〇〇〇 (〇〇) 〇〇〇〇				
届出者の現場責任者の氏名及び連絡場所	〇〇〇県 〇〇市〇-〇-〇 株式会社〇〇元請建設 現場代理人 〇〇 〇〇 電話番号 〇〇〇〇 (〇〇) 〇〇〇〇				
下請負人が特定建設作業を実施する場合は、当該下請負人の氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名	〇〇〇県 〇〇市〇-〇-〇 株式会社〇〇下請建設 代表取締役社長 〇〇 〇〇 電話番号 〇〇〇〇 (〇〇) 〇〇〇〇				
下請負人が特定建設作業を実施する場合は、当該下請負人の現場責任者の氏名及び連絡場所	〇〇〇県 〇〇市〇-〇-〇 株式会社〇〇下請建設 現場責任者 〇〇 〇〇 電話番号 〇〇〇〇 (〇〇) 〇〇〇〇				
※受理年月日					
※審査結果					

- 備考 1 この届出書は、騒音規制法施行令別表第2に掲げる特定建設作業の種類ごとに提出すること。  
2 特定建設作業の種類欄には、騒音規制法施行令別表第2に掲げる作業の種類を記載すること。  
3 特定建設作業の実施の期間欄には、その期間中作業をしないこととしている日がある場合は、作業をしない日を明示すること。  
4 特定建設作業の開始及び終了の時刻の記載にあたっては、作業の開始時刻及び終了時刻並びに実働時間が同じである日ごとにまとめてさしつかえない。  
5 ※印の欄には、記載しないこと。  
6 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

騒音規制法の特定建設作業についても、同じ要領で記入してください。

## 届出書を提出する前に！

---

- 解体工事の場合、アスベストの有無を確認
- 工事現場の土地について、土壌汚染の有無を確認
  - ・低騒音型バックホウは届出不要です。使用するバックホウが該当するか確認してください。
  - ・空気圧縮機について、さく岩機の動力として使用する場合は届出不要です。

## 届出書の添付資料

---

- 現場周辺の案内図（作業現場と周辺の状況が確認できるもの。）
- 作業現場内の見取図（特定建設作業を行う箇所が把握できるもの。）
- 工事全体の工程表
- 特定建設作業の工程表（日、祝日は含めない。作業日と予備日を明記する。）
- 特定建設作業にかかる使用重機等のカタログ（外観と能力が分かるもの。）

## 工事を行う場合の注意点

---

- 近隣住民に対して、事前に工事内容の説明を行い、理解を得られるように努める。
- 事前に周知している作業日、作業時間等を遵守する。
- 著しく大きな音の発生が予測される作業を行う場合、作業時間等について事前に周知する。
- 不必要なアイドリングの停止や、走行時の最徐行を心掛ける。
- 問い合わせ窓口を明確にして、苦情に対しては真摯に対応する。